

議 事 録

1. 会議の名称 令和6年度 第3回 池田市男女共同参画審議会
2. 開催日時 令和7年2月21日（金）
開会 午前10時 ・ 閉会 午前11時
3. 開催場所 池田市上下水道庁舎 3階第3会議室
4. 出席者 <委 員>
※会長：◎ ◎有澤委員、○山本委員、藤田委員、金井塚委員、徳田委員、谷田委員、山崎委員、松本委員、佐藤委員、北村委員、禧久委員、荒木委員

<事務局職員>
樽谷次長、金主幹、吉川主幹、瀬川主事
5. 議 題 1. 令和6年度 男女共同参画審議会答申（案）について
（第3次池田市男女共同参画推進計画について）
2. その他
6. 議事経過 別紙のとおり
7. 公開・非公開の別 公開
※非公開の理由
8. 傍聴者数 0 名
9. 問い合わせ先 池田市 市民活動部 人権・文化国際課
（072）752－1111 内線259
（072）754－6231 （ダイヤルイン）
E-mail j-bunka@city.ikeda.osaka.jp

1. 開会

(事務局)

第3回池田市男女共同参画審議会を開催します。本日はお忙しいところご出席を頂き、誠にありがとうございます。開会にあたり、会長よりご挨拶をお願いします。

2. 会長挨拶

(会長)

おはようございます。今日は、「いけだパートナーシップ21」の素案と概要版案が送られてきました。カラーで印刷すると、すごくきれいでびっくりしました。白黒だけじゃなくて、これだとすごくインパクトがあると思います。今日は「いけだパートナーシップ21」について答申案ができましたので、皆さまのご意見を頂きたいと思います。よろしくをお願いします。

3. 議事

①令和6年度 男女共同参画審議会答申（案）について（第3次池田市男女共同参画推進計画について）

—事務局説明—

(会長)

「いけだパートナーシップ21」が1部、素案が送られてきましたが、だいぶ少なくなりましたね。すごく厚かったのですが、要点をまとめてわかりやすくなっています。冊子について、ご意見やご質問等はいかがでしょうか。

(委員)

指標等、かなり具体的になりました。基本的にゴーサインですが、第3次計画の数値目標が以前は「増加させる」という表現だったのを、もっと具体化したほうが良いというご指摘が荒木委員から出ていたように思います。この数値の指標は、この辺でゴーサインをもらえるかどうかは1点です。

また、今回の数値目標で「あらゆる暴力根絶のための啓発や講座」の実施回数が6回から10回に増加させると、具体的な数値になっています。目標値が2034年なので、まだ先までに何とか10回まで増やしましょうということですが、講座を開くとなると予算取り等を事務局が考えて10回にしているのでしょうか。

(委員)

目標値について、色々なご検討をありがとうございました。ご検討頂いた結果なので基本的にこれでいいと思いますが、10年間の計画なので、どう増えていくのか今後も事務局では丁寧にご議論いただいたほうが良いと思います。

単純に（実施回数を）10で割って1個ずつ増やしていくのか、はじめは少し仕掛けに時間がかかり後半にグッと伸びるのか等によって予算の付け方も変わるので、10年後に向けてどうしていくのか継続的にご検討いただければと思います。

(会長)

現在値に比べて目標値が高くもなく低くもなく妥当な線というか、これから10年で、これくらい増えてくれれば良いなということですが、ぜひ増やして欲しいです。そのためには何かしなければならず、黙っていても増えていきません。例えば講座をするとか、

健診率は増やすことにして、参画率とか割合を増やすような努力をしないといけないと思います。私も指標はだいたいこれでいいと思います。
基本用語もかなり細かく調べて書いてありいいですが、足りないこと等ありましたらご意見をお出しくださいませ。

（委員）

今まではDVに対処する考えを女性に向けていますよね。女性をかばう感じで。文章がそう読み取れます。男性が加害者のDVのほうが多いという感覚と受け取っていましたが、今の世の中で女性の力も強くなってきています。これから先、男性より女性のほうが強くなる気がします。男性が受けるDVもありますよね。男性へのDVはどうしていくのでしょうか。

計画を読むと、女性をカバーしているようにいつも思います。男性が被害者のDVもありますよね。これから先を考えると、女性が強くなれば男性がDVに悩むことも起こるのではないのでしょうか。今の世の中、人間関係もおかしくなっています。これがずっと続いていくと、男女関係なくDVはなくなるのかなと思います。

（会長）

もちろん男性に対しても女性に対してもDVはありますが、やはり多いのは弱い女性です。経済的に困窮している女性や、身体的な暴力のほか、精神的な暴力もまだ残っています。確かに男性の被害もないことはないし、男性にもありますが、女性に対する暴力のほうがいまだに多いと私は思います。

相談件数も女性が男性について訴えるというか、相談しに行くことも多くなっており、やはりまだ女性は弱いです。もう少し対等にお互いにできるように、男性から押し込められることがないようにしなければなりません。私は、DVに関してはまだ女性の立場が弱いと思っています。

（委員）

DVの男女比は正確な数字を今持ち合わせていませんが、男性が被害者になることも増えてきています。半分とは言いませんが6：4もしくは7：3くらい、6：4くらいまで来ていますかね。原因は断定できませんが、男性は冷静に「やめなさい」と言いますが、女性が暴れて男性を殴ったり物を投げたり、そういう関係で、次にけんかしたら男性が手を出すとか。女性だけが一方的にやられる、半分以上はそういう状況ですが、それ以外は男性がやられることも増えてきているのも現状です。実際に女性が逮捕される場合も増えてきています。

（委員）

男性が被害者のDVは、数としては男性が少ないですが、少ないからやらなくていいとは言えません。相談件数が少ないから（男性の被害が）ないのではないかというのも違うと思います。男性は全般的に、そもそも相談をしない傾向にあります。相談数が少ないということは相談しづらい環境であり、相談しやすい環境をつくるのが本来の方向です。

ただ、今回（計画の）色々なところで配慮がされていると思ったのは、概要版の6頁の相談窓口に男性のための電話相談窓口が書いてあるとか、アンケート結果の色々なところに男性のことも明確に書いてあるので、計画や概要版も全体的には男性にも意識が向いていると思います。

(事務局)

DV防止法ができたときは、女性が受ける暴力の割合が確実に多かったと思います。我々もDV相談を受けたり、支援措置をしたりしている中で、確かに男性が相談に来られるケースもあり、そういう点では相談は増えています。一方で、女性が暴力を受けて避難するシェルターや施設はありますが、まだ男性を支援する支援制度が弱いと思います。まだ発展段階というか、DV防止法ができてから少しずつ形を変えていかねばならないので、行政として支援を考えていかないといけません。

(委員)

概要版2頁の計画の位置づけで、最初に「国土強靱化地域計画」が出てきますが、この計画との関連性はどの程度あるのでしょうか。ちらっと見ましたが、それほど関連性はないという印象を持ったので、書く位置はここよりも後ろでもいいと思いました。どの辺が関連しているのか教えてください。

また、「池田市子ども・子育て支援事業計画」は来年度以降に「こども計画」に変わります。(計画策定の)タイミングが一緒なので、新しい計画の名称を使われるなら、そのほうが良いと思いました。

(事務局)

「国土強靱化地域計画」は、危機管理課から池田市のすべての計画のアンブレラ計画のため(関連計画の)最初に書いて欲しいと要望があり、当課で検討し記載しました。意味合いを説明できず申し訳ありませんが、そういう理由で最初に記載しています。「子ども・子育て支援事業計画」はご指摘の通りなので、正式名称に変更します。

—議事①は以上—

②その他

(事務局)

委員の皆さまの任期は、5月までの2年間です。本審議会が今回の任期では最後の審議会です。皆さまお忙しい中、2年間貴重なご意見を頂き、本市の男女共同参画推進にご協力頂きありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いします。

(会長)

その他に何かご意見はありますか。

(委員)

概要版の差し替え文はいいと思いますが、元々記載されていたダイバーシティセンター設置の日付は記載しなくていいでしょうか。削除した理由はありますか。

(事務局)

日付を外した意図は、いつオープンしてとか、市の色々な文章を入れた時に「いつまで言うのか」という問題があります。「オープンしてすぐは入れたらいいが」と言われたことがあり、今回も開設から3年経っているので、入れるべきか悩み一旦削除しましたが、掲載するほうが施設の理解が深まるのであれば入れることも検討します。

(委員)

概要版を何年このまま使うかによるのではないですか。数年ならまだいいですが、10年後になったらとか、この冊子自体10年使ったら（開設年の記載があるのかどうか）。

（事務局）

10年計画であり5年で見直し改訂版を作るか作らないかという話になりますので、今回の概要版の使用は最短で5年です。

（委員）

2030年まではこれで、その時に「2022年（令和4年）にオープンした」という情報をどう考えるかということでどうでしょうか。

（委員）

書いたほうがいいと思います。また、「ダイバーシティセンター」より、「ツナガリエ」を聞くことが多かったので、「ツナガリエ」も書いたほうがいいですね。「ダイバーシティセンター」より「ツナガリエ」のほうが市民に浸透している感覚があります。ご検討ください。

（事務局）

ありがとうございます。検討して修正します。

（委員）

「ツナガリエ」の話ですが、「ツナガリエ」は建物全体の名前じゃないですか。そうすると、「ダイバーシティセンター」だけが「ツナガリエ」みたいに見えてしまうので、「ダイバーシティ社会を推進するためツナガリエ石橋内のダイバーシティセンター」としたらどうですか。

（事務局）

そのようにいたします。

（委員）

市のホームページに詳細版を掲載すると思います。その二次元コードをどこかに掲載して頂けるといいと思います。本をしっかりと読もうという人が最近減っており、データでしっかりと読み込もうという人が多いので、ここのページが10年後変わる可能性があるなら、もっと入り口でもいいし、このページがなくならないならここに直接リンクするような二次元コードをつけて欲しいです。

概要版が街角に置いてあって、二次元コードだけ読み取って帰ることも可能になると思います。最近は紙を配っても持ち帰らないので、二次元コードをどこかに入れて欲しいです。

（委員）

概要版の6頁に掲載されている二次元コードは計画全体というより、このページに関してのものです。

（事務局）

DV相談プラスのチャット相談につながります。概要版の発行月等を書いているところに、例えば「詳しい詳細版はこちらでご覧に頂けます」という形でリンクを貼ること

ができます。

（委員）

概要版の3頁の基盤整備の2つめに「男女が協力して取り組む地域・まちづくりの推進」とありますが、どのような感じを求めていますか。まちづくりとは、どのようなことを期待して書いていますか。

（事務局）

概要版には題名の記載しかありませんが、詳細版の33頁に詳しく記載しています。民生委員・児童委員や地域コミュニティ推進協議会や自主防災組織に今男性が多いので、女性も参画できて、男女がいつでも協力して取り組む地域・まちづくりの推進という意味合いです。

（委員）

地域の、例えばお祭り等をみんなで作り上げていくということですか。

（事務局）

地域のイベントや組織に性別に関わらず参画できる状態を目指す、という意味合いです。

（委員）

誰でも協力してやっていこうと声掛けをしていくといいということですよ。地域によっては、まとまりにバラつきがあり、どのようにまちづくりをしていけばいいか考えている所もあります。

男性ばかり、女性ばかりの団体もあって、互いに協力していないのでまちづくりになっていないのかなと思って。福祉協議会や色々な団体がありますが、自分たちは自分たちという感覚の地域もあるので、なかなか協力が難しいと思います。

（事務局）

組織間の協力はあったほうがいいですが、この計画での意味合いは少し違います。この計画では、女性しかいない団体がだめということではなく、女性も自分の意志で参画できる環境づくりをしていこうという意味で、役所の中でも女性が活躍できる教育コミュニティの推進や情報提供、学習機会の提供等ができる仕組みづくりをしていきたいという意味で書いています。

（会長）

民生委員や児童委員は女性のほうが多いですよ。女性同士の、女性だけでなく男女のつながりがお互いを思いやってという、思いやりの心が大事です。女性が多いので、男性も参加して欲しいです。ひとり暮らしの男性も増えているので、女性も男性もお互いに思いやって、お互いの権利を充実させるような取組ができればいいと思います。

色々なアイデアが違いますので、男女が一緒になってみんなでまちをつくって、女性も男性も平等なまちをつくっていくと考えるといいと思います。

（委員）

男性の地域参画や、まちづくりに男性をという視点ができたのはここ10年くらいです。特に定年後の行き場のない男性を地域で何とかしなければ、というような話が出た

のはそう古い話ではなく、その途上じゃないでしょうか。やっている最中というか、ようやく始まったところなので、こういう概要版を通じて地域に男性の居場所をどんどんつくろうという機運が盛り上がるためにも必要かと思います。試行錯誤しているところ です。男性が地域やボランティア活動に出始めたと感じることは多いです。

図書館も今まではほとんど女性と子どもというパターンが多かったのに、男の人が新聞や雑誌コーナーにいたりします。行き場がないのかなというのも聞いたりするのですが。地域が男女ともに開放されていく途上だと思うので、これからの 10 年が大事になってきます。その意味でもこの概要版が色々な所で活用されたいと思います。

例えば実際にDVを受けて困っている人が、概要版の一番後ろのページを見た時に相談窓口の電話番号が掲載されていると、その部分だけでもスマホで撮影して、後で見る使い方もできると思います。

(委員)

そういう窓口であればこのページを一番後ろに載せるほうが、わかりやすくなると思いました。

(事務局)

それも検討しましたが、最後に発行元等があってスペースの問題で、より大きいスペースで掲載できるのが今の頁だったので、そちらに掲載しています。確かに後ろのほうが見やすいですが、スペース的にこの構成でいきたいと考えています。

(委員)

男女が共同で行う地域活動の促進とか、基本課題Ⅲの男女平等と仕事と生活の調和の実現ですが、その後ろに「【女性活躍推進計画】」と書かれています。実際の計画に紐づいているのを示すために書いていると思いますが、これを見ると女性のことなのだと感じてしまいます。中身を見れば男性のことも書いているし、男性の地域参画のことも男性の家庭参画のことも書いていますが、一番大きいところに「【女性活躍推進計画】」と書いてあると、女性のものと勘違いしそうです。見出しに書く必要はありますか。

(事務局)

今回の計画に、女性活躍推進法に関わる女性活躍推進計画、DVだったらDV防止基本計画、新しくできた困難女性基本計画を含む前提になっています。概要版ではそのことを端折ってしまうので、括弧書きで計画名だけ書いていますが、初めて見る人には理解しにくいと思います。字もかなり大きいので主張しすぎかもしれません。基本課題がこれらの計画にもかかっているという説明が必要です。これらの計画名も入れないといけないと考えていますので、書き方について検討し回答いたします。

(委員)

全体的に冊子の中でフォントにバラつきがあるので、統一してもらおうと見やすいです。

(会長)

他に何かございますか。他にご意見がないようですので、以上を持ちまして令和 6 年度第 3 回池田市男女共同参画審議会を閉会いたします。本日は大変お忙しい中、ご出席頂きありがとうございます。

—閉会—